

こなん水辺公園ニュース

2012年11月号(通算第17号)

こなん水辺公園解説員グループ編集

第3回河北潟自然再生まつり

第3回目となる河北潟自然再生まつりが10月21日に開催されました。天候に恵まれ、たくさんの家族連れの方が来園し、和やかな雰囲気のおまつりとなりました。河北潟周辺で行われているさまざまな活動や取り組みの紹介、河北潟干拓の歴史紹介、河北潟周辺で生産された農産物の販売、カヌー体験や釣り体験、セイタカアワダチソウ抜き取り大会など、たくさんのプログラムが行われました。当日の様子を紹介します。

■めった汁無料配布

毎年好評のめった汁の無料配布。河北潟周辺地域で生産された野菜がたくさん使われています。今年は特においしいと評判でした。



■草木染め

園内のセイタカアワダチソウを利用した草木染めのハンカチづくり。それぞれが好きな模様をつけて染めました。



■こなん水辺公園いきものさがし

こなん水辺公園解説員はビンゴゲームや紙飛行機づくりを行いました。



■あずまや

芝生広場に作られたあずまやでは、お

にぎりの試食が行われました。あずまやの屋根は、このおにぎりのお米の稲わらで作られたものです。



■ちょっとだけ釣り

気軽に釣り体験ができる「ちょっとだけ釣り」で釣れた魚。赤い魚は金魚？！



■管理学習棟内での展示



冬季のお休みのお知らせ

自然解説員は12月から2月までの期間は休みとなります。3月より再開します。



こなん水辺公園救援隊

8月下旬に結成した「こなん水辺公園救援隊」は、9月より本格的に活動を始めました。最初の活動は9月2日（日）でした。まずは現状を把握しよう、ということのみんまで園内を見て回りました。



上の写真は、園内の水路で撮影したものです。針金がとび出している様子がわかります。このような問題点とともに、園内の魅力的なところもたくさん見られました。観察池そばの草むらでは、脱皮中のバッタを観察することができました（下の写真）。



大勢の人がいることで、色々な視点から公園の現状を見ることができました。そして、新たに知ることがたくさんありました。

二回目は9月23日（日）。最初の活動の成果をもとに、今後の具体的な活動内容を考えたり、園内の池に繁茂する外来植物の除去を行ったりしました。

「来園者に園内の植物にもっと興味をもってもらえるよう園内の草木に紹介看板をつけてはどうか」という隊員のアイデアから、草木の紹介看板を作る活動も始めました。10月7日（日）には、園内にどのような植物があるのかを調べるため、植物の専門家の方を招いて、園内を周りました。



そんなに広くないこなん水辺公園ですが、植物をじっくり見ていくと、たくさんの種類があり、あっというまに時間が経ってしまいます。

そのほかにも、草が茂り観察しにくくなっている野鳥観察壁前の草刈りや、公園入り口に立っている公園名が記された柱をきれいにしたりと、公園をより良くするため、様々な活動を行いました。

10月21日（日）には救援隊のユニフォーム作りを行いました。園内に生育する「セイトカアワダチソウ」を使って草木染めTシャツを作ります。



上の写真は、使用するセイトカアワダチソウを集めているところです。黄色い花の部分の煮て、染色液を作りました。

そして出来上がったユニフォームが次の写真です。きれいに染まりました。



11月23日には、金沢大学の方々と合同でヨシ刈りを行いました。天候がよくないなか、多くの方が参加し、たくさんのヨシが刈り取られました。



救援隊員は随時募集しています。興味のある方は下記までご連絡ください。

救援隊参加申込み先：NPO法人河北潟湖沼研究所
FAX 076-255-6941
メール info@kahokugata.sakura.ne.jp

発行 2012年11月25日

制作 こなん水辺公園解説員グループ（NPO法人河北潟湖沼研究所内）

連絡先 〒929-0342 河北郡津幡町北中条ナ9-9 Tel.076-288-5803